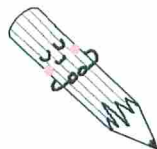




神様の手の中の

小さなえんぴつ

わたしは神の手の中にある小さな鉛筆のようなものです。神が考え、神が書くのです。鉛筆は何もしません。鉛筆はただ使われるだけです。
(マザー・テレサ)



だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。

(マルコの福音書 8 : 34)

少し遅いですが、みなさまに Merry Christmas and a Happy New Year! 10月16日にトロントに到着し、初めてのトロントでのクリスマスを過ごしました。まだここに来て3か月しかたっていないのですが、本当にたくさんの方に会い、様々な文化と様々な言語と様々な英語に接しました。今は大海の中、荒波にもまれながら進んでいる小舟に乗っている感じですが、それでも楽しんでます。みなさまのお祈りに支えられているのだと思います。今年も「わたしについて来なさい」とおっしゃる主に従っていきます。どうぞよろしくお願いします。

カナダでの生活が始まっています

10月16日にトロントに到着しました。Willowdale Evangelical Churchという教会に、ドイツからのmissionary candidate(宣教師訓練生)3人とともに、住んでいます。1週間のうち月曜から木曜までの9時から13時半までは、英語学校の授業があります。私のクラスは、FCEという英語の試験に向けて突進していて、たくさんの宿題が出ます。そしてたくさんの文法とイディオムをたたきこまれています。

金曜日はインターンシップ・プログラムと称して、すべてのmissionary candidateが集まって、さまざまな学びや体験をします。12月の最後には、ヒンズー教徒の人が来て、ヒンズー教について解説してくれました。神に至る道には、様々な道があるというような説明をしてくれて、私たちはだまって聞いていたのですが(多分みんな何か言いたくて仕方がなかったと思うのですが)、最後に彼は元ヒンズー教徒のクリスチャンだということが判明しました。何と彼はうまくヒンズー教徒のふりをしていたのでしょうか！



英語学校のクラスメートと記念撮影。日本を含め5か国の人たちが学んでいる。

(左から7人目が近藤恵宣教師)

土曜日は、住宅の掃除の日です。掃除機をかけた後、じゅうたん絨毯が敷かれていない床はすべて洗剤をしみこませた布で汚れを落とします。さすがドイツ人ですね。

日曜日は、Dovercourt Baptist Churchという教会に集っています。この教会はたくさんの国の人が集っていて、この間のクリスマスでメリークリスマスを各々の国の言葉で言ったら、15か国語になりました。

12月からは、週に1回ベンガル語(バングラデシュの国語)のレッスンをしてもらうようになりました。先生はバングラデシュから7月に来たばかりの女性ですが、首都ダッカでたくさんの宣教師にも教えてきた方です。2時間のレッスンの途中でバングラデシュの甘いミルクティーを出してくださり、英語でおしゃべりをします。ベンガル語のレッスンだけでなく、バングラデシュへの理解を深めたいと思っています。

ああ異文化交流トレーニング！

リーベンセラ宣教団の宣教師トレーニングがなぜトロントでされるのかというと、ここは世界の様々な国から人々が集まっているからです。聞くところによると、トロントの人口の70%は外国からの人だということです。

トロントでは、私のまわりにはたくさんのドイツ人がいます。リーベンセラの人たちですね。そして住んでいる教会がドイツ人の教会です。英語学校では、ドイツ人、韓国人、メキシコ人、ロシア人の生徒たちがいます。そして元バングラデシュ宣教師のマルクスが、たくさんのバングラデシュの方々に出会う機会を私に与えてくれています。また金曜日には、異文化を学ぶレクチャーもあります。

でも何といっても強烈な異文化体験は、英語学校に12月から新しく来た先生との出会いでした。彼は、イランから来た人でムスリム(イスラム教徒)です。はじめての授業の時、彼は1時間半の間に10回以上私の名前を呼び、さらに時々ペンで机をコツコツ叩いて私に注意を促しました。こういうことが続き、私は彼のクラスに出るのが苦痛になってきていました。ある日、彼は私に「君は授業中に夢を見ている」と言ったので、クラスメートでルームメートでもあるリーが、次の日、彼に抗議してくれました。それ以来、こういうことはなくなりました。どうも彼と目を合わせない私が、授業に集中していないと思っていたようです。アイコンタクトをしない人とアイコンタクトが重要な人の文化の違いの問題だったんですね。そしてこの違いを乗り越えるために、言葉で説明する必要があるのだと学びました。これからも何が起こるのか注意したいと思います。



Prayer request

1. 英語の聞き取りや話す能力はまだまだ足りません。あと3か月で、できるだけその能力を伸ばせるようお祈りください。
2. 主語によって動詞が変化するベンガル語にも悪戦苦闘しています。どうぞお祈りください。
3. 派遣教会である自治医大前キリスト教会のために。
4. 未信者である母と姉の救いのために。

LMI 世界宣教会近藤恵宣教師会計報告 (07年10月～12月)

		10月	11月	12月
収入	近藤恵宣教師指定	301,760	215,000	367,500
	前月繰越金	365,452	693,882	529,882
	合 計	667,212	908,882	897,382
支出	近藤恵宣教師支援金	0	358,000	0
	年金・支える会経費	11,140	0	950
	帰国準備金	0	0	120,000
	渡航費・海外旅行保険	-67,810	0	0
	LMJ事務局費	30,000	21,000	36,000
	次月繰越金	693,882	529,882	740,432
	合 計	667,212	908,882	897,382

※10月の渡航費はカナダ飛行機変更更し金、宣教師支援金は必要に応じて送金しています。

献金者お名前

(教会) 泉キリスト教会、岩井キリスト教会、青梅東宣教キリスト教会、大磯キリスト教会、かもい聖書教会、行田カベナント教会、自治医大前キリスト教会、下館キリスト教会、湘南ライフタウンキリスト教会、鶴ヶ島聖書教会、蓮田キリスト教会、みなみ野キリスト教会、本郷台キリスト教会、前橋キリスト教会、水戸下市キリスト教会、谷田部キリスト教会、横浜緑園キリスト教会

(個人) 赤城二郎・香澄、浅岡善雄、有山敏・教子、幾田美津枝、池田美栄子、池田百合子、井上稲子、李賢娥、今市病院、宇賀神浩人、岡本英次・真奈美、川村裕、北沢幸子、国井昭男、倉持芳、小池宏明、佐藤丈史、沢田陽子、塩澤幹雄、鹿野眞澄・晴美、自治医大前キリスト教会個人、芝田寛二・正子、高橋洋子、武田香、立石哲・早苗、蓼沼京子、田中泉、中井靖子、中村充・みちる、長谷川昭雄、日高幸恵、増田睦子、松浦洋子、三浦健治、光畑京子、山田みちよ、四宮義文・牧子、匿名(敬称略)

尊い献金をありがとうございました。

編集後記

苦難の日にはわたしを呼び求めよ。
わたしはあなたを助け出そう。あなたはわたしをあがめよう。

(詩篇50篇15節)

近藤恵宣教師がトロントに旅立って3か月がたちました。神は私たちの必要を、思いや願いを超えて満たしてくださいました。悩みや戸惑いに襲われたときも、願い求める私たちを助けてくださり、悩みを賛美に変えてくださいました。ニュースレター第3号をお届けします。(ひ)

連絡先: 〒329-0403

栃木県下野市医大前3-7-1

近藤恵宣教師を支える会

(自治医大前キリスト教会内)

Tel&Fax: 0285-44-7564

ホームページ

<http://homepage3.nifty.com/meg/>

E-mail: meg0_02007@yahoo.co.jp

郵便振替払込

口座番号: 00110-1 番号: 91993

加入者名: LMI世界宣教会

通信欄: 近藤恵宣教師指定献金